

# 2024年度 すくわくプログラム実践記録

園名：みんなのみらいをつくる保育園初台

## 保育理念

わたしたち保育園は、みんなの未来をつくることに  
自ら参加し、貢献し、そして楽しむ心を育みます。

## 保育目標



### 共感性

自分の気持ちを大切にし  
他者の気持ちも大切にする  
こども



### 内発性

自らの内なる声を読み  
主体的に動くこども



### 創造性

自由に考え  
創造するこども

## シチズンシップ保育5つの基本



## 1,活動のテーマ

<テーマ(こどもたちの興味・関心を深める)>

米農家「田中農場」と連携し、Zoom交流を通して農業やお米について知る

<テーマの設定理由(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)>

園の特色として、保育室から調理室が覗ける環境や、園児と調理スタッフとの関係も近いことから、食育活動が活発に行われている。

縁あって鳥取県八頭町の米農家「田中農場」に声を掛けて頂き、Zoomでの交流を始めた。虫や動物に興味を持つ子に向けて、田中農場の田んぼに棲む生き物についての話を聞いたり、食事の中心である「ごはん」に焦点を当て、さらに食事や食材についての興味を深めたりすることを目的としている。

## 2,活動スケジュール

2024/05/17

- ・ 田中農場田中社長とZoomでおはなし(第1回)「田んぼの様子を見てみよう」

2024/07/09

- ・ 田中農場から苗を送ってもらい、稲のバケツ栽培を開始
- ・ 田中農場田中社長とZoomでおはなし(第2回)「田んぼに棲む生き物を知ろう」

2024/09/15

- ・ 田中農場田中社長とZoomでおはなし(第3回)「お米の種類を知ろう」
- ・ 田中農場から新米コシヒカリと香り米を送ってもらい、食べ比べをする


2024/12/19

- ・ 在園児保護者と卒園児が講師になって「しめ縄飾りづくり」

2025/1/24

- ・ 田中農場田中社長とZoomでおはなし(第4回)「もち米と餅つき」
- ・ 田中農場から頂いたもち米で餅つき

## 【実践記録】

日付	2024/05/17
「問い」	「みんなが食べているご飯（白米）はどうやってできているの か知ってる？」 「田んぼや田植えの様子を見たことある？」
環境のデザイン	・ 米ができるまでの過程を紹介する写真やイラスト ・ 鳥取県の「田中農場」とZoom接続（スクリーン投影）
探究活動	・ 写真を並べ替えるクイズ形式で、米のできる過程（田植え・ 収穫・精米など）を知った。絵本で得た知識などでそれぞれ偏 りがあったが、積極的な発言が見られた。 ・ 田中農場の田植えの様子をZoom接続して見学した。土では なく泥の中へ植える方法に興味を持つ様子があり、田植え機が 動く様子を見ると歓声が上がっていた。
活動の様子	

振り返り	<p>・ これまでの食育活動では「旬の食材について」や「調理すること」を軸にしてきたが、「ご飯」について取り上げることは少なかった。しかし、最も身近な食材だからこそ、興味・関心が高まり、たくさんの疑問があがっていた。「どうして(収穫して)すぐに食べられないのか」「どうして土(畑)ではなく、水の中(田んぼ)で育てるのか」など、保育者ではすぐに答えられない疑問に対して、リアルタイムに農家から返答があることで、子どもたちが「わからない」で終わるのではなく、次の疑問につながる活動ができていた。</p>
------	---


日付	2024/07/09
「問い」	<p>「田んぼの様子はどう変わっていると思う？」 「田んぼの周りに棲む生き物って知ってる？」</p>
環境のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育室内に田んぼの周りに生息する生き物の写真を30種ほど掲示</li> <li>・ 鳥取県の「田中農場」とZoom接続(スクリーン投影)</li> </ul>
探究活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動物や虫が好きな子どもが多いことから、近所(都市部)では見ることのできない動物や虫に焦点を置き、自然豊かな場所や田んぼのある風景に興味を持てるような環境構成にした。</li> <li>・ 登園時から掲示させていた動物や虫の写真に目を輝かせ、「これ図鑑で見たことある!」「どの動物が一番強い?」などの言葉が聞かれた。子どもたちから生まれた疑問に対しては、「あとで(農家の)田中さんに聞いてみよう」と促し、Zoom接続までの期待感が高まる様子があった。</li> </ul>

## 活動の様子



## 振り返り

- ・ 田んぼの様子を見せてもらおうと、前回は田植え開始直後で泥の色が目立った田んぼが、一面緑色の苗が並べられている変化に気がつき、歓声が上がっていた。「次はまた違う色になる」と聞き、「赤い実ができて赤くなるかも」「お米だから白だよ」と予想をするなど期待感が高まっていた。
- ・ 掲示されていた動物や虫が農場の周りに実際に生息すると聞き、子どもたちが驚いていた。動物の名前や特徴を一通り聞いた後には、「強い動物はどれ？」という子どもたちの質問から、弱肉強食や生態系の話が広がったり、「畑に害となる動物と畑のために働く動物」がいることがわかったりなど、知識を深めることができていた。

日付	2024/09/27
「問い」	<p>「お米にも種類や名前があるって知ってる？」</p> <p>「名前が違うなら、大きさや味も違うのかな？」</p> <p>「お米はご飯ではないものにも変身するよ」</p>
環境のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に田中農場から2種類の米（新米「コシヒカリ」と香り米「プリンセスかおり」）を購入</li> <li>・ 鳥取県の「田中農場」とZoom接続（スクリーン投影）</li> <li>・ おやつのおにぎりを2種類のお米で提供し食べ比べをする</li> </ul>
探究活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 購入した2種類の米について、農家から名前や特徴を解説してもらおうと、本当に違いがあるのか疑う子や「保育園の給食とお家のご飯は違う味がする」と話す子がいた。</li> <li>・ 「プリンセスかおり」という名前の米を紹介されたことから、「プリンセスが好きなお米なのかな」「僕と同じ名前のお米もあるかな」と想像をふくらませる姿があった。</li> <li>・ 食べ比べ中には、視覚、嗅覚、触覚、味覚を使いながら、2種類のおにぎりの違いを探した。「ポップコーンの匂いがする」「粒が少し長細い」「いつも食べているご飯の方が好き」と違いに気が付きながら食べ比べを楽しむことができていた。</li> </ul>
活動の様子	



### 振り返り

- ・ 米に名前や種類があることを知ったことで、保護者に家庭で食べている米の名前を聞く姿があった。翌日以降の給食時には「今日のご飯はなんて名前？」と興味を持ち、調理スタッフにたずねる子もいた。
- ・ 米以外にも果物にも細かく種類があることに気が付き、図鑑で名前を覚えようとする子もいた。
- ・ 日常の中で米やご飯のことで疑問が生まれると、「今度田中さんに聞いてみたい」と話し、農家との距離が縮まってきているようにも感じられた。
- ・ 食べ比べを行うだけでも、その食材に興味を持つ様子があったため、果物や野菜でも食べ比べの機会を設けたい。

日付	2024/12/19
「問い」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おじいちゃんがお米を作ってるよ」</li> <li>・ 「おじいちゃんがお正月飾り作るんだよ」</li> <li>・ 「みんなと一緒に作りたい」</li> </ul>
環境のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正月の絵本などからお正月飾りを知る</li> <li>・ 在園児の保護者からしめ縄の材料（藁）を頂く</li> <li>・ 事前に折り紙や自然物を用いて飾りを準備する</li> </ul>

## 探究活動

- ・ 田中農場との企画を通して農業に興味を持った園児が、祖父が米農家であることを他児に共有し、その後保護者から「毎年しめ縄飾りを作っているが、一緒にどうか」と提案してもらった。
- ・ 保護者が保育参加として来園し、在園児と姉（卒園児）と共に3人が、由来を紹介し、手本を見せながら製作した。藁が編まれて形が変わる様子を、物珍しそうな表情でじっくり観察していた。
- ・ 3,4歳児はしめ縄を輪にするところから、5歳児は藁を編むところから挑戦した。それぞれ思い思いに飾り付けを行い、完成したものを自宅へ持って帰った。

## 活動の様子





振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者も初めての経験だったため、園児と共に感動や難しさに共感しながら制作を進めることができた。</li> <li>・ 見るだけで終わりではなく、本物を自分で作る経験を通して、日本文化に触れることができた。</li> <li>・ 一連の企画の中で見てきた稲が、食べるだけではなくて、飾りに変わることを知り、無駄なく楽しめる部分にも気がつくことができていた。</li> <li>・ 保護者からも「貴重な経験をありがとうございます」「可愛くてどんと焼きに持っていけない」と好評で、来年度以降も続けていきたい活動の一つになった。</li> </ul>
------	--

日付	2024/01/24
「問い」	<p>「お餅もお米から作られているんだよ」  「もち米を使って餅つきをしてみよう」  「つきたてのお餅を食べてみよう」</p>
環境のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に田中農場からもち米を購入</li> <li>・ 鳥取県の「田中農場」とZoom接続（スクリーン投影）</li> <li>・ 餅つき用の杵臼をレンタル</li> </ul>
探究活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田中さんからもち米の特徴を説明すると、園児から「普通のご飯とどう違うの？」と質問が上がり、直接回答してもらった。</li> <li>・ 大人の餅つきの様子を見学した後、希望者が順に餅つきを体験する。適宜餅の状態を確認し、「ねちよねちよになってきた」と声が上がり、形状が変化していく過程も確認した。</li> <li>・ 順にこどもたちが餅つきを体験した。杵の重さにバランスを崩す様子もあったが、周りから「よいしょ」の掛け声で応援され、笑顔で楽しんでいた。</li> </ul>

## 活動の様子



## 振り返り

- ・ 初めの餅つきに対するイメージが「楽しい」「太鼓みたい」だったが、振り返りのサークルタイムでは、「湯気が出ていた」「(杵が)重かった」「難しかった」「大人も上手くできていなかった」などの感想が聞かれ、実際に見学・体験することでイメージが変わっていた。
- ・ 「米」にも種類があることや、調理方法を変えることで様々な料理に枝分かれしていくことを知り、より深く「米」についての知識を得ていた。
- ・ 園児と保育者が同じ体験をすることで、気持ちや感じたことに共感することができた。